

平成27年度住民説明会 議事録要旨

日 時 : 平成28年2月11日 (木・祝)
場 所 : 多摩ニュータウン環境組合管理棟 201、202 会議室
出席者 : 環境組合 會田事務局長、芳野総務課長、諸星施設課長
構成市 八王子市 諸角資源循環部長
町田市 小島環境資源部長
多摩市 浦野環境部長

参加者数 : 多摩市民17名 八王子市民1名 計18名

1 事務局長挨拶

- ・ 昨年の説明会以降の協議検討状況の報告のために開催した。
- ・ 昨年の説明会でのご意見を集約すると概ね6つにまとめられる。
- ・ 現在の八王子拡大を除いた可燃処理だと1炉運転で、このままでいくと年間117日の停止になり、著しく工場の機能を損なうことが予測されるため、年間54,000トン以上必要だとの結論に達した。具体的な再編区域の検討はまだ行っていない。たいへん時間がかかっており、申し訳ありません。
- ・ 昨年2月の説明会でのご意見に現段階においてできる限りお答えするとともに、現在の検討状況をご説明し、ご意見ご質問をいただきたい。環境組合職員はもとより構成3市の部長も参加し、説明会を開催させていただくことにいたしました。

2 説 明

ごみ処理区域再編検討状況について

諸星施設課長が、プロジェクターを用いてパワーポイントの資料に沿って説明を行った。

3 質疑応答

質問1

1点目

- ・ 本末転倒で納得できない。減量減量と大騒ぎし、結果工場にとってはマイナスだったとは、減量してきたことは無駄だったのか。ごみ処理は公共事業だが、民間のようにコスト削減など別の方法を考えたらどうか。
- ・ 町田市の事業系ごみの件は、もともと区域だったのか。そもそも区域は簡単に変え

られるのか。調布市のごみを受け入れたように、どんどん受け入れていたら、ごみがどんどん増えてしまう。工場の都合のみで増やそうとするのは納得できない。

2点目

尾根幹線を通行する収集のトラックは、どういうものか。大きな黒いトラックを見かけるが、そのことか。

3点目

網戸を見ると、黒いススが固まって取れない。実際にススが飛んでいるのか。

回答1

1点目

ごみ減量化は地球温暖化抑制のために大切だと認識している。現状では1炉稼働でこの工場を使い続けることが使命だと考えている。その中で低負荷運転により、売電収入の確保、福祉センターへの熱供給を何とか確保したい。

一般廃棄物の処理は、市町村の責務であるが、立川のように民間事業者が事業系の一般廃棄物処理に参入し始めており、将来は家庭系のごみを処理することも考えているという。建て替えのころにはこのようなことが広がっているかもしれない。

町田市の方は、区域内です。本来は搬入するべきでしたが、当初は事業者が少なくごみもほとんどなかった。現在開発が進み、一定量が見込まれるため搬入を開始することになったので、これは処理区域の変更ではないです。

調布市については、広域のごみ処理の応援協定があるため受入れた。この工場も故障や建て替えの際などは、他の工場に受け入れていただくこともあるかも知れない。お互い様という考えで、協力し合っています。

2点目

大きくて4トンの車両。黒い大きな車両は、民間の事業系ごみの収集車両だと思います。

3点目

周辺のばいじんの測定値は、測定限界以下であり通常の埃だと思われます。

(多摩市の補足説明)

ごみの減量は、構成3市はもとより日本全体、世界で進んだ。COP21のパリ協定採択などでも報じられたが、地球温暖化対策の取組みとして、ごみの減量が進められてきた経緯がある。

また、ごみ処理については、工場近隣の皆様のご協力と、最終処分場のある日の出町の協力があって成り立っている。日の出町は、自分の町はこの最終処分場を使用していないのに、多摩地域の灰を一手に引き受けている。ごみ減量は、日の出町の負担を増やさないためにも必要だと考えている。

ただ、この清掃工場は規模とごみ量のアンバランスのために、ごみが足りないという矛盾が生じている。しかし総じていえば、多摩市にとっては、費用の問題が大きい。

現在ごみ処理に 26 億円かかっており、これを少しでも減らして、待機児童対策や、高齢者対策へ、しっかり税を充てていかなければならない。

今回お願いしているのは、今よりごみは増えませんがごみ処理に対する税負担をさらに増やすことがないように、54,000 トン以上のごみ量を認めていただきたいということです。

質問 2

26 市全体で同じ課題があると思う。三多摩（西多摩、南多摩、北多摩）あるいは全体で広域化するということについてはどう考えますか。

回答 2

数年前に三多摩地域のごみ処理の効率化をはかるために、東京都で調査を行った。広域化するのであれば都も支援する考えであった。それぞれ工場の建設時期が違い、一斉に進めることが難しい問題だが、多摩市も要望を出している。

質問 3

1 点目

八王子市の拡大について、受け入れているのか。説明会にはすべて出られない。組合の動きについて、知るための方法を教えてください。また、八王子市は 2 つ工場があり、ごみが少ないので、交互に稼働しているという噂がある。本当ですか。

2 点目

将来の展望について。今 200 トン 1 炉であり、建て替えても 200 トン規模であったら、今と同じではないか。ダイオキシンの関係で大きい規模にしなければならないのか。

3 点目

地域住民の健康問題について、谷戸沢処分場の周辺の子供たちに、先天異常児の発生率が高くなっているという噂がある。三多摩でしっかり調査するべきではないか。煙突からのダイオキシンについて、総量の数値が知りたい。

回答 3

止まっていた館の工場は、平成 34 年に稼働を開始する予定です。誤解がないようにご説明しますと、多摩清掃工場を建て替えたときは、200 トン炉 1 炉ではなく、たとえば 100 トンを 2 炉など、2 炉にすることになる。点検等で休止した場合に、2 炉あると片方で処理できるので、都合がいい。技術の向上により、今は小さい炉はダイオキシンが発生しやすいということはありません。例えば武蔵野市は 60 トン×2 炉を建設しています。

現在、灰はエコセメント化しており、埋め立てはしていません。ダイオキシンの総量に関する説明は、東京都のデータを紹介します。(データの読み上げ) こちらの施設周辺の空気中のダイオキシンの値は都平均の約半分です。

情報共有については、たまかんニュース、チラシ等の広報でお知らせしています。HPにも掲載していますが、十分ではないので、今後充実を図っていきたいと考えています。

(八王子市の補足説明)

八王子の拡大については、平成 22 年 10 月に館が休止して以降、年間の搬入量を 12,000 トンを上限に受入れていただいております。唐木田近隣の皆さんにご迷惑、ご心配をおかけしていることをお詫びいたします。そのうえで、八王子の工場は、3 工場あり、現在戸吹 (100 トン炉×3 炉) と北野(100 トン×1 炉)が稼働しています。ごみ処理基本計画では、館については、平成 34 年に稼働を目指して建て替える予定で、同時に北野は老朽化で止める予定です。八王子市は、ニュータウン区域以外のごみはこの 2 工場で処理していくという計画になっています。交互にということではありません。

日の出町の谷戸沢の健康問題についてですが、平成 23 年から 24 年に広域処分組合の事務局におりましたので、わかる範囲でお答えしますと、当時健康問題について裁判がありました。地裁、高裁とも、この地域の環境に影響を及ぼしていないという判決でした。その後上告されており、現在最高裁の判断をあおいでいるところです。

質問 4

慎重に検討してほしい。車両の通行については唐木田地区でも地域差があるが、渋滞があり、車が住宅のほうに入ってくる。再編については、建設当時に地元はニュータウン区域だけということに涙を呑んで認めたので、なし崩し的に行うのはどうか。通行の問題もあり、住民の日々の生活に影響のあることなので、慎重に検討してほしい。

将来はごみの減量が進むということであれば、例えば 50 トン炉 2 炉くらいの小さなものにして、地元にご迷惑をかけないようにということをお頭に置いてほしい。柔軟に考えてほしい。

回答 4

ごもっともであり、地域の皆様の思いは肝に銘じています。しかし一方で、工場の現状もしっかりお伝えして今後のあり方を検討しなければいけないと考え説明会を開催しました。

今の工場を維持するために 54,000 トン以上をお認めいただきたいということですが、区域を再編するということは、いったいいつまでかということがございますが、工場の建て替えの時が見直す時期であると考えています。今より減量が進み、工場の規模や区域については、その時にもう一度検討させていただくことになると考えています。

今回の説明は 54,000 トン以上必要だということをご説明申し上げていますが、中間報告ですので、今後区域を具体的に検討しまして、また説明させていただく予定でいます。

質問5

なぜ、この工場を維持しないといけないのか議論されていない。建て替えると39億余分という数字が出ているが、これがどんな意味を持つ数字か理解できていない。ここの年間予算は年間20数億で、多摩市のほうはもっとかかっている。それと比べて39億はどうかという議論がなされていない。54,000トンになるために地元にかかる有形無形の負担について議論されていない。その中でこの工場ありき、54,000トンありきで話が進んでいるという感想である。もっと言うと工場を建て替える時は、ここから工場を移転ということも考えられるのかということです。

回答5

実はこの工場については、焼却棟283億、不燃棟52億、管理棟10億の費用がかかっています。建てるには、莫大な費用がかかるため、現在は延命化をして10年長く使うという考えがあり、我々もこれだけの費用を負担していただいた施設ですから、何とか使い切りをさせていただきたいと考えており、そのことをご理解いただきたい。

54,000トンについてですが、平成26年度の搬入量は、可燃ごみは約57,000トンであり、現状より増やすという考えではない。具体的な区域やごみ量の検討はまだこれからですが、実際の数字はまた検討が進んだらお示ししたいと考えています。

清掃工場は未来永劫ここにありきではないということについては、重く受け止めた。工場を作るときは、8年から10年くらい前から、そういったことも含めてご議論していきたい。

ただ我々から申し上げたいことが1点ございます。施設を作らせていただいてから、公害防止や安全かつ安定的な稼働を最優先に運営をしてまいりました。また、工場の建設にあたり、我々の先人達が地域の皆様の要望事項について、誠実にお応えして参りましたので、一定の評価をいただき、信頼関係を築いてきていると考えております。この信頼を今後も崩さずに運営していき、建て替えの際は議論していきたい。そのうえで結論を出していきたいと考えています。

質問6

300億もかけて作ったものは長く使うこと、ごみが足りないからお互い様の精神で入れることはよくわかる。しかし、建て替えの時はここがありきという話はどうか。お互い様の部分の最初の時はここがかぶりますということだったが。ここが建て替えの時は、例えば八王子市が3つある施設を2つにするならばその一つでこちらがすでに義務を果たしてきた分を担っていただきたい。いま決められる話ではないかもしれないが、真剣に議論していただきたい。同じように町田市の分を受入れるにあたって、その間町田市の市民はここがあるので建て替えの時に施設がなくても提携できるので、こちらが建て替えの際は応分の負担をすることを考えて新施設の計画をしていただきたい。

また、100年単位で施設をどこにどう持っていくか考えていくべき。市なのか議員な

のかわからないがきちんと考えてほしい。

もう1つ腑に落ちないところがある。平成6年の計画時は200トン×3炉で600トンの規模で日量415トンである。余裕をみて約70%の付加だと計算すると、200トン炉1炉で70%だと140トンであり、足りないといっているがほぼ適正な量ではないか。そこが腑に落ちない。

回答6

工場の建て替え時にここありきではないということについては、先ほど申し上げたように、十分議論していきたい。

ただ、この工場は多摩ニュータウンの開発に伴って計画され、清掃工場は多摩市に、斎場は町田市に、墓苑は八王子市に、下水処理施設は稲城市に作るとし、関係各市の合意のもとに、ニュータウンを開発した東京都、都市再生機構、東京都住宅供給公社及び構成3市の出資により建設された経緯があり、建て替え時は、成り立ちの経緯を含めた検討になると考えています。

ごみ量をもっと少なくてもというご意見ですが、昨年度実証実験を行い、日量185トンの低負荷運転であれば、停止日数が少なく熱供給もできることがわかりました。ごみが減ってしまうと、停止日数が増えてしまい、費用が多くかかってしまうこととなります。細く長く運転するためにも54,000トンが必要だと考えています。

本来は200トン炉1炉運転だと66,000トンの処理ができるが、数字を抑えて54,000トンとお示ししている。

質問7

早期建替えをやるべきだと思う。資料に載せるのは平成55年までないし50年までの計算を出してもらわないと。当然平成44年には建て替えるのだから費用がかかってくる。そこまでの総費用を出さないと計算が合わない。建て替えることで、設備がよくなり売電の問題も、使用量が減り発電量が増えるかもしれない。金額のことだけを考えてもたぶん建て替えた方がいいと思う。お湯の供給のことですぐにプールや福祉センターが出てくるが、これは別の話でいいのではないか。これは福祉の問題であり、持ち出されるのは納得できない。これは多摩市の問題であり、焼却場とは別の話だと思う。

平成55年の費用をとりあえず教えてほしい。延命化を行ったうえで、今の価値がなくなり平成44年の建て替えに118億円が上乗せされたらもう飛び越してしまう。平成45年、50年、55年となると建て替えた方が費用が少なくて済むのではないのでしょうか。

平成55年と言ったのは、延命措置をしてしまうとそこに費用がかかってしまうので、その費用をかけずに建て替えれば運転費用も抑えられ平成55年での比較は建て替えた方が費用が抑えられると考えました。

回答7

今回の説明にあたり、100年というスパンでも検討している。早期建替えだと4つ

建てることになる100年だと延命化だと3つですので、単純に工場一つ分の差がある。次回55年、100年の比較をお出ししたいと思います。

質問8

鳥インフルエンザが発生したら、受け入れるというのは本当ですか。絶対大丈夫ですか。燃せばダイオキシンが出るし灰も出る。九州では埋め立てたが、なぜ焼却するのですか。

多摩は平成44年に建て替えと言っているが、八王子市は北野をやめると言っている。町田市さんも建て替えて、もしここが故障したら、ちゃんと町田市、八王子市は協力してくれるのか心配。職員のみなさんはどんどん担当者が入れ替わっていくが、我々はずっとここに住んでいるのです。

組合と自治会で、唐木田通りを収集車が通行しないように協定を結んでいるが、実際は八王子市の直営車が通ったりしている。道路を直してくれたら通ってもよいと考えているが、多摩市の道路に聞いてもよくわからない。個人では難しいので、こういった話は、組合と自治会で行うのですか。

ここが建て替えになったときに、八王子市も町田もいっばいになったらどうなるのか。住民に不安がないようにしてほしい。工場が故障したりしたときに受け入れると町田市、八王子市は約束できますか。

最後に損害賠償金のことはどうなりましたか。

回答8

多摩市にも養鶏場がありますので、鳥インフルエンザが発生した場合に蔓延しないように焼却することになっています。都の防疫員が立ち会い、ピットに入れずに直接投入して焼却します。他市も同様の対応をすることになっています。東京都は、埋め立てる土地がないので、焼却する方針を出しています。収集車の通行については、約束していることですので、守るよう指導していきます。

ごみ処理の相互協力については、来年度は不燃・粗大処理施設の工事による停止時は、町田市と八王子市に処理をお願いすることになっています。

(八王子市)

我々は構成市ですので、当然協力していきます。三多摩の広域支援体制もあり、相互協力を図っていますので、唐木田の道路をごみで汚すようなことはないと言い切りたいと思います。

(町田市)

町田市も相互協力していきたいと考えています。現在工場の建替えにむけて準備しており、応援処理でご迷惑をおかけすることが多々ありますが、来年度は不燃・粗大処理について受け入れる予定で、受け入れられるところでは協力していきたいと考えています。

損害賠償金については、協議がまとまり昨年8月に、事務経費を除いて全額を施行

者である東京都、都市機構、東京都住宅供給公社及び構成三市へ返還し、すべてが完了しています。

質問 9

ごみが減っているのは町田市八王子市も同じだと思うが、8,000 トン入れるというのは現実的なのか。また、このことで多摩市の負担金が上がったなら本末転倒だと思うがどうなのか。

回答 9

八王子市と町田市のどの区域から、何トンかということは、まだ検討していないが、構成3市で組合の経営を考えているので、調整を図りながら進めてまいります。

このことによる負担金の増はないのですが、負担金の考え方として、重量割の部分が大きいため、実際は八王子市さんが12,000 トンを引き上げて、2市で8,000 トン搬入となると、おそらく八王子市さんの負担割合が減り、町田市さんは増えて、多摩市は若干増えると考えられます。ただ、今年度で公債費の償還が終了しますので、負担金は下がる傾向にあると考えています。

質問 10

今までの話を聞いていて、ごみの量を増やすのは、反対の立場の方がほとんどだと思います。それはお金云々より大切なものがあり反対しているのだから、収支がマイナスだという説明では納得しない。こういう意見を集約してちゃんと知ったうえでやっていてもらいたい。私は健康を守ることが一番大切なので、福祉センターなどのことがあるのであれば、これは身分不相応なものだということで、もう廃止していいと思います。

回答 10

ご意見として伺います。今日のご意見はまとめまして、参考にさせていただきます。決して聞き流すということではございません。

質問 11

本日の説明会とはかけ離れてしまうのですが、本日こちらに来られなかった方から要望意見を預かってきていますので、代弁させていただきます。

内容は町田市さんへの要望です。ニュータウン開発の時に工場の東側の信号のところに道路の計画があったが、今はそういった計画はないと、昨年町田市の道路関係の方から連絡をいただいている。平成5年の環境組合設立時に、小山田地区の開発に伴って道路を開発して、工場に直接町田市のごみを持ってくるという話を当時の町田市長からいただいていたが、資料がメモ程度しか残っていないので、いったん町田市のほうで確認していただいて、次回で結構ですので回答をいただきたい。

なぜかといいますと、現在大妻側に途中まで町田市さんが道路を整備していて、大妻側に車が出てきており、特に朝晩など尾根幹が混んでいて、大妻の生徒も歩いていて右折左折がしにくいので、住宅に車が入ってきてここで数件事故が起きている。事故がないようにしていきたいので、計画にあった道路を作っていただきたいと唐木田自治会では考えております。ぜひ道路のほうを調べていただいてご回答をいただきたいと思います。

次にこれは私から組合への要望です。資料について、最後のページの建て替えの費用は工事の費用だけではなく、委託運営関係、諸経費、光熱費も含めていただきたい。

回答 1 1

(町田市)

建設部門が多摩市さんと調整していると思われまますので、担当に確認したうえでお答えしたいと思います。

(組合)

資料については承知しました。

(組合)

本日は長時間に渡りありがとうございました。

まだ、いろいろとお尋ねになりたいことがあるかもしれません。何かわからないことなどありましたら、我々にご一報いただきたいと思います。

本日は非常に、有意義なお話をさせていただき、いろいろ宿題もいただきました。もろ手を挙げて賛成とはいかないことはごもつともだと思えます。当然私共も、区域の再編については慎重に進めていきたいと考えております。54,000 トンを導き出したのも必要最小限であり、平成 22 年の説明会では、109,500 トンとお示ししていただきました。それではなく現行の中で必要最小限ということで 54,000 トンという数字をやむなくお示したわけです。

先人の思いを我々も心の中に刻んでいますので、そのことを忘れるということは決してございません。今後この話を進めていくにあたり、皆様に随時ご報告をさせていただきながら進めさせていただきたいと思っております。ぜひその辺でご理解いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議の声なし)

それではこれで終了とさせていただきます。ありがとうございました。

